

# 平成29年度事業計画

## 1 方針

県隊友会は、県民と自衛隊のかけ橋として、県民の防衛に対する一層の理解と認識の向上に努め、防衛及び防災施策、自衛隊諸活動ならびに予備自衛官等の支援を基本とし、慰霊顕彰事業、及び地域社会の健全な発展に寄与する事業を積極的に推進し、防衛基盤の構築に貢献する。

このため、公益目的事業の定着充実により会活動の活性化を図るとともに、会勢の拡大、収益事業の強化により会基盤の充実を図り、合わせて会員の福祉と親睦のための事業を継続して会の魅力化に努める。

## 2. 基本事業・重点事業等の主要着眼事項

### (1) 総務・組織

#### ア 会勢の充実・拡大

##### (ア) 会員の増勢

駐屯地・基地への「会勢拡大施策」と連携し、即日入会率の向上に努めるとともに、未加入OBの掘り起こしと入会勧誘を継続して会員の増勢を図る。

このため、部隊行事、部隊長等懇談会等参加時に一般隊員への隊友会の広報と理解を促進するとともに、各支部等における未加入OBの把握及び加入働きかけをする。

##### (イ) 会員名簿の整理

定期的に即日入会者、新規入会者等情報の入手に努め、会員名簿を最新の状態に維持して継続的に会勢を把握し、本部への名簿報告及び次年度総会議決権行使等の事務に資する。

この際、名簿は出身区分及び予備自衛官等を重視して整備する。

##### (ウ) 家族会員の増勢

家族会員制度の更なる理解・普及を推進し、家族会員の加入率(正会員比)増加を図る。本年度も引き続き加入率10%以上の目標を継続し家族会員の増勢に努める。

この際、各支部長は半期毎(9月及び年度末)、支部の家族会員加入の現況を県隊友会事務局へ報告するものとし、半四半期の各支部の加入状況については周知して目標達成の促進を図る。

##### (エ) 予備自衛官部会・女性部会との連携・支援

予備自衛官部会、女性部会の充実強化を継続するとともに、緊密な連携のもと、その活動を積極的に支援して県隊友会及び支部活動の活性化に繋げる。また、各部会員には隊友会未加入の予備自衛官及び女性を隊友会へ勧誘する有力なリクレーターとして会員増勢に寄与させる。

##### (オ) 特別会員の増勢

地域社会の隊友会に対する一層の理解と協力を促すため、個人及び法人等を対象とする特別会員の増勢を図る。

##### (カ) 会員の定着率向上

会員の仲間意識の醸成、会活動への参画意識を増進するとともに、県及び支部活動の魅力化施策により退会者の抑制を図る。

この際特に、一昨年から進めている「パートナー(世話役)制度」施策の定着を図り、各支部の特

性に応じた創意を尽くした活動状況と成果の把握を行い、各支部への情報提供と普及を推進し、1年未満の退会抑制と定着率の向上に努める。

(活動及び成果の参考：鹿児島地区協議会のパートナー制度事業)

## イ 組織の改編・強化

### (ア) 新支部等の結成促進

結成又は空白地域における新支部等の結成気運を醸成・支援し組織の立ち上げ・拡大を図る。

この際特に、奄美地区新設部隊配置を見据えた奄美地区活性化及び結成気運のうかがえる地区を重視する。

また、地区協議会の結成及び未結成空白地域会員の既存の近隣支部等への編入についても、それぞれ該当支部等との調整に努める。

### (イ) 役員後継者の育成・登用

支部長等役員の発掘・育成を図るため、現職時代の階級意識の払拭を図るとともに、真に熱意と実行力のある曹友会長・先任上級曹長(伍長)等新進気鋭の人材の発掘と登用を図る。

## ウ 会務運営の効率化

### (ア) 定期総会

定期総会は防衛講演会及び懇親会を併せ実施し、必要な議事を執り行うとともに、会員の啓発・懇親の機会とする。

a 時期：平成29年5月14日(日)1300～1800

b 場所：鹿児島市内(ジェイドガーデンパレス)

### (イ) 議決権の行使

本部総会及び県総会の不参加者の議決権行使は手続に基づき済々で行う。

### (ウ) IT機器の効果的運用の推進

IT機器による会員相互のアクセスを拡大し、更なる会員相互の情報連携の推進に努める。この際、会員のメールアドレスの登録を呼びかけて参画意識を促すとともに、セキュリティの確保に万全を期する。

また、県隊友会事務局との連携を図りながら、ホームページの整備等最新状況の更新に努めるとともに、「御知らせ、各支部だより、会員からの要望・情報等」の機微な発信に努め、会員相互の情報共有の有効な手段として継続的に充実・更新を図る。

### (エ) 規則類の見直し

本部会員規則第10条(会費の納入)の改正に伴う県規則第8条(会費)の周知徹底を図るとともに、引き続き本部の定款・規則類の見直し及び会員の改正意見等に基づく県隊友会規則の改正・見直し等を適宜行う。

※ 県規則の一部改正(案)による

## (2) 市民・防衛・広報

### ア 防衛意識の高揚

我が国の安全保障・防衛体制及び自衛隊の国内外行動について会員及び一般市民の認識の向上を図る。

(ア) 関係自衛隊・防衛協力諸団体と連携し、会員及び一般市民を対象とした安全保障フォーラムを開催(10月8日(日):勤労者交流センター)するとともに支部長会議・支部総会等あらゆる機会を活用し、

軽易な防衛講和・セミナーを計画・実施して、防衛等諸問題の研修・研鑽によりその趣旨達成を図る。

(イ)九州・沖縄ブロック研修会の参加

佐賀県隊友会が担任し開催する九州・沖縄ブロック研修会に参加して、防衛及び防衛関係施策に対する各県の取り組みについて意見交換するとともに各県隊友会との相互交流を図る。

別紙第1 九州・沖縄ブロック研修会佐賀大会参加大綱(案)

(ウ) 体制変換に伴う方面隊等演習・防災・現地研修等に参加し、自衛隊に対する支援・協同要領について研修する。

イ 自衛隊及び地方公共団体の防災・国民保護施策等に対する協力

(ア) 隊友会自衛情報ネットワークの維持・拡充

隊友会自衛情報ネットワーク協力者との連携を密にし、第12普通科連隊との合意書に基づき大災害発生時の迅速・確実な災害情報の提供に努める。このため、第12普通科連隊防災訓練と連携し情報伝達訓練を実施する。

この際、隊友会自衛情報ネットワーク未加入の支部からの協力者を募り、全県下の情報収集組織の拡充を図るとともに協力者名簿の最新整理に努め、第8師団情報ネットワークとの整合を図る。

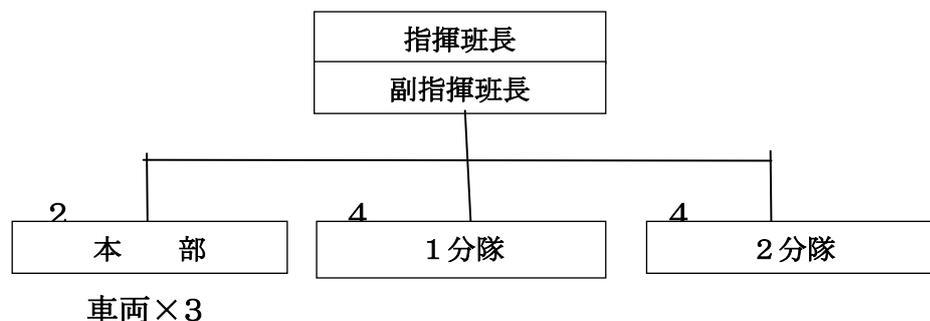
また、同協力者は、隊友会本部と連携しボランティア活動保険に加入するものとする。

(イ) 国民保護法事態及び大規模災害発生時における自治体との協力協定

未締結自治体と各支部等との協力体制を推進する。自治体と合意した場合は、隊友会本部に承認申請して協力協定を締結する。

(ウ) 大規模災害発生時の協力者ネットワークの構築の推進

自衛情報ネットワーク協力者のうち、県外及び県内での大規模災害発生に協力する会員との連携を密にし、大規模災害発生等非常時の連絡体制及び協力支援要領を整備して、要請に応ずる即応体制を整える。このため、次の防災ボランティアチームを平素から組織し、要請に伴い第一陣を速やかに派遣できるよう準備する。



(エ) 大規模災害発生に備え、支部ごとの公益事業実施前報告書をあらかじめ整備し、災害発生時の隊友会本部への速達を図る。

併せて、平成27年3月に作成した鹿児島県隊友会防災ボランティア活動マニュアルの実効性を検証し、必要に応じ補備・修正する。

(オ) 自治体等の行う総合防災訓練等への参加

県及び市町村が実施する総合防災訓練等に積極的に参加してノウハウを蓄積し、大規模災害発生時の円滑な協力を資する。なお、同訓練等に参加する地区協議会(支部)は、「例規第4号定期及び随時報告について」に基づき参加の概要及び成果を報告するものとする。県はこれに基づき隊友会本部事務局に対し必要経費を申請する。

a 鹿児島県総合防災訓練

担当:鹿児島県、期日:29年5月21日(日)

場所:西之表市

参加者:西之表市・中種子支部・南種支部

b 桜島火山爆発総合防災訓練(図上)

担当:鹿児島県、期日:29年12月、

場所:県庁

参加者:各グループ、鹿児島地区協議会

(カ) ボランティア人材バンク組織の維持・拡充

29年度のボランティア人材バンク登録者名簿を整備するとともに新規入会員の調査を実施して同組織の維持拡充を図る。

また、専門的知識・技能を必要とするボランティア事業に参加を希望する会員の資格取得のための支援を行う。登録様式は例規第4号別紙第6による。

(キ) 鹿児島県防災士会との連携を図り、防災士会の実施する行事に積極的に協力・参加し、防災知識・能力の向上に努める。

(ク) 平成27年度に制度化された「地域防災マネージャー制度」を活用し、地本・部隊・各支部との共同連携のもと、各市町村自治体の「防災監等」部署への適任退職自衛官の雇用について積極的に働きかける。

防災監配置市町村:霧島市、薩摩川内市、曾於市、垂水市、始良市

(配置予定市町村:鹿児島市、出水市、さつま町、大崎町等を予定)

ウ 地域社会の健全な発展に寄与する各種協力

会員の居住地域社会が要望する各種事業及び東日本大震災復興お助け隊に対し、自衛隊で培った能力・経験及び隊友会という組織力を活かして協力・支援し地域社会の健全な発展に寄与する。

(ア) 県内公益目的事業の推進

青少年の健全育成、公園・慰霊碑・戦没者墓地等の清掃、各種慰霊祭への参加及び各地域の行う行事等の社会活動に参加して、会活動の活性化を図る。

この際、公益目的事業実施前に公益事業実施前報告書(例規第4号別紙第4)を順序を経て隊友会本部へ提出し、公益事業実施間の不測事態に備える。

(イ) 「東日本大震災復興お助け隊」への参加

公益目的事業達成のため同お助け隊への参加を促進する。

エ 広報活動

(ア) 広報紙「隊友さつま」の発刊:年4回(1回/期)、

「会員の情報共有」と「県と支部間の意思の疎通」を狙いとして更なる内容の充実を図る。

別紙第2 平成29年度広報紙「隊友さつま」発刊計画

(イ) 鹿児島県隊友会ホームページへの積極的投稿と活用:1回/月更新

(ウ) 隊友会月刊紙「隊友」への積極的記事投稿及び改善意見・要望事項等の投稿

オ 憲法改正運動

美しい日本の憲法をつくる鹿児島県民の会と連携協力し、憲法(9条)改正に向けての県民意識の高揚を図る。

### (3) 部隊等支援・協力諸団体・親睦

#### ア 部隊等支援

部隊等諸活動の支援は、会活動の重要な柱であるという認識の下、県・支部等が相互に調整・連携を取りつつ、共同して積極的に支援する。

#### (ア) 演習・訓練・災害派遣等の協力支援

部隊等が実施する主要訓練・演習、駐屯地行事、状況により出動する災害派遣、国際支援活動を重視して支援する。

#### (イ) 部隊等との交流

各部隊指揮官・幕僚との間において、定期的な意見交換の機会を設定し、会活動の広報及び部隊側の意見聴取を行う。また、部隊訓練の見学及び隊員と支部会員との直接的交流の場を積極的に設定する。

また、賛助会員に対し、会活動の現況を広報・PR するため、各駐屯地・基地に設置している「隊友会 PR コーナー」の活用・充実を図る。

#### (ウ) 募集・援護等の支援

募集・援護について、地方協力本部及び地域事務所との連絡・調整関係を保持し、情報の収集・提供を主体として協力する。

特に、地方協力本部との連携を図るため、各支部は地域事務所との定期的な情報連絡会議の開催、支部総会での説明会、入隊激励会・広報官激励等を実施する。

a 募集環境の厳しさを会員も共有し、縁故募集等に協力する。

b 地域の企業に就職している会員からの援護情報を提供するとともに隊友会への加入を促進する。

(エ) 自衛隊業務に対する協力・支援事業(自衛隊員家族相談窓口支援・託児支援施策協力・隊員に対するカウンセリング実施支援等)について、部隊側の要望に応じ積極的に対応する。

#### イ 予備自衛官等の支援

予備自衛官及び即応予備自衛官は、隊友会の中核的存在であるという認識の下、招集訓練の激励支援を計画的に実施する。この際、隊友会への加入促進及び予備自衛官部会発足に伴う会活動を積極的に支援する。また、予備自衛官福祉支援制度について普及する。

(ア) 招集訓練参加記念品の全員配布(海上自衛官含む。)

(イ) 招集訓練射撃優秀者隊員の顕彰

(ウ) 招集訓練時、地本の協力を得て意見交換会(昼間・夜間)の実施

(エ) 即応予備自衛官激励・訓練見学・担当部隊との懇談

#### ウ 殉職者自衛隊員及び戦没者等の慰霊顕彰・援助

(ア) 殉職者慰霊については、各駐屯地・基地で行われる追悼式に参加し、弔意を表するとともに、地方協力本部の協力を得て、護国神社における殉職者慰霊祭を主催する。

(イ) 戦没者慰霊については、県として護国神社春季大祭・鹿児島県沖縄戦没者慰霊祭・大東亜戦争戦没者慰霊祭・鹿児島戦没者墓地慰霊祭等に参加・協力するとともに、各支部単位で墓地の清掃活動の実施及び慰霊祭等に積極的に参加する。

別紙第4 平成29年度県隊友会長が参加する慰霊祭・追悼式等

#### エ 防衛協力諸団体等との連携

共に自衛隊と市民との架け橋を志す防衛協力諸団体及び各駐屯地・基地の部隊 OB 会等と常

日頃から連携を保持しつつ、協同した活動の可能性を模索する。各支部は、自衛隊家族会と連携(共同事業の実施等)し、現役隊員の退職後の将来像でもある隊友会会員の現役時の勤務、退職後の就職・隊友会活動状況等を自衛隊家族会に紹介説明し、安心感の付与、相談受け等により安心感の付与、離職防止、隊友会との早期からの関係構築による加入促進に資する。

- (ア) 防衛協力諸団体等の事業への参加
- (イ) 防衛協力諸団体等との調整会同の開催
- (ウ) 防衛協力諸団体が実施する慰霊祭等、各種事業への協力
- (エ) 自衛隊・協力諸団体・各部隊 OB 会及び一般市民との連携事業の開拓
- (オ) 地域社会における各種協力

#### オ 親睦・福祉厚生

会員の親睦・福祉厚生は、会員の心を癒し、会基盤の維持・拡充を図るため、必須の要素であり、県・支部の連携と創意を凝らし、充実を図る。各親睦事業の実施に当たっては、駐屯地曹友会等に積極的に参加を案内する。

##### (ア) 主要な親睦事業

- a 総会時の懇親会
- b グランドゴルフ大会
- c 囲碁(将棋)大会
- d ゴルフ(隊悠会)大会支援

(イ) 会員の叙勲・功績に敬意を表するとともに、不慮の事故等にあつては、心あるお見舞等を行う。

##### (ウ) 隊友会幟の作成・配布

各支部の団結と士気高揚及び隊友会活動の PR 効果を図るため、引き続き未配布支部の隊友会幟を作成し配布する。

(エ) 隊友会会員の再就職を支援し、会員の福利厚生及び会勢拡大に寄与する。

#### (4) 財務・事務局・監事

##### ア 財務強化の会費徴収厳正化

会費・予算については、貴重な会員財源であることを再認識の上、即日入会率向上施策の推進、年会費2年連続未納者に対する会員継続依頼による会費納入者の増加及び特別会員の増加を図り、年会費の増収に努める。

##### イ 年度事業・予算計画に基づく適正な予算の執行

予算の執行にあたっては、年度事業・予算計画に基づき、適正・効率的に運用するとともに、会計事務についても隊友会会計処理規定に基づき適正に実施する。

別紙第4 平成29年度予算報告書(案)

別紙第5 平成29年度事業(予算収入・支出)計画(案)

##### ウ 収益事業等

引き続き、各販売事業及び広告収益事業を次のとおり積極的に行う。

(ア) 天の輝き「隊友」は、九州各県隊友会への販売の拡大及び県内会員への販売拡大を図る。

(イ) 隊友会員の健康維持増進食品として「鯉一番せんじ」の販売を促進する。

(ウ) 自販機設置場所情報提供収益事業、公園施設管理・ハンター事業等公益事業及び相互扶助事業は会員及び関係者へ主旨を説明し、情報の獲得に努める。

(エ) 広告紙頒布依頼企業を開拓し収益の増大に努める。

(オ)「隊友さつま」への広告協賛企業を各支部等に募る。

エ 県事務所の運営

事務所運営に、鹿児島地区協議会からのボランティア協力を得て、事務所勤務を拡充し本部及び各支部等との連絡体制を保持する。

オ 県本部役員の交替

役員交替に伴う各グループの業務担当区分を行い整齊と事業を進める。

3 主要な事業予定

別紙第6 平成29年度主要行事予定表(案)

九州・沖縄ブロック研修会佐賀大会参加大綱(案)

1 目的

佐賀県隊友会が担任・実施する九州・沖縄ブロック研修会に参加して、終身会員廃止に伴い会費の納入管理を検討し、隊友会の一層の充実に資するとともに、隊友会九州・沖縄ブロックの団結強化を図る。

2 期日・場所

(1) 期日 平成 29 年 11 月 4 日(土)及び 5 日(日)

(2) 場所 ホテル龍登園

住所 〒840-0203 佐賀市大和町大字梅野120

電話 0952-62-3111

3 主要研修項目

(1) 開会行事

(2) 研修会 会費納入・管理要領の検討及び発表並びに本部からの回答

(3) 防衛講話 講師 折木良一 氏 演題 未定

(4) 引き継ぎ行事

(5) 意見交換会

(6) 現地研修

晴天時 : 嘉瀬川バルーンフェスタ会場

雨天時 : 佐賀歴史博物館、バルーンミュージアム等

4 管理事項

(1) 意見交換会 : 6,000 円、

(2) 宿泊費 : 8,000 円(3名以上部屋、朝食付)

※ シングル・ツインは、少数有(金額?)

(3) 移動 : 鹿児島地方協力本部に支援依頼(マイクロバス)実施

(4) 参加者名簿の提出

ア 各支部は、参加者名簿を 8 月 15 日までに県本部事務局に送付されたい。

※ 参加者名簿様式(別途配布)

イ 県本部は、佐賀県隊友会へ 8 月 31 日までに参加者名簿を提出する。

【事務局連絡先】

Tel : 099-295-6724 FAX : 099-295-6723

Eメール : kagotaiyu2014@kagoshimaken-taiyu.jp

住 所 : 〒892-0815

鹿児島市易居町10-12 村田ビル1階

鹿児島県隊友会事務局

平成29年度 広報誌「隊友さつま」発刊計画

目的		隊友会活動の周知(情報共有)・自衛隊情報の周知		時期	年4回(各回A3版4ページ)発行とする(各四半期)									
部数		2500部		経費	会費から充当(不足分は広告協賛費から補填)									
細部計画														
発刊時期	発行業務	1-四 7/15		2-四 10/15		3-四 1/15		4-四 4/15						
		3/20 4M前	4/15 3M前	6/10 1M前	6/20 3W前	7/10 2W前	9/20 1M前	10/10 3W前	12/20 1/10 4M前	12/25 2W前	1/10 1M前	3/10 3W前	3/25 2W前	4/10 当日
予定	内容	編集	原稿	最終	校正	印刷	完成	編集	原稿	最終	校正	印刷	完成	
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	3	
県	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	
支部	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	
主要行事	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	定期総会	
面	細部記事内容(細部の記事割当計画 付録)													
1面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新年度活動方針等・県定期総会</li> <li>・役員交代紹介</li> <li>・巻頭言・特別寄稿</li> <li>・期(3~5月)行事等</li> <li>・理事&amp;支部長等</li> <li>・個人投稿記事(2名)</li> <li>・県の行事(2回)</li> <li>・家族関係作文等(1名)</li> <li>・支部紹介(1口支部)</li> <li>・身近な話題(3件:郷土意識,ホタル等)</li> <li>・会員紹介(1名)</li> <li>・表彰(叙勲、隊友会、その他)</li> <li>・身近な話題(2回)</li> <li>・PKO(その都度)・予備自訓練(年1回)</li> <li>・新装備等紹介(1個装備品等)</li> <li>・定年退職前隊員の声(1個部隊)</li> <li>・曹長等(1個部隊)</li> <li>3社(鹿児島2、鹿屋)</li> </ul>													
2面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年語の辞</li> <li>・期(9~11月)行事等</li> </ul>													
3面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度活動成果等</li> <li>・巻頭言・特別寄稿</li> <li>・期(12~2月)行事等</li> </ul>													
4面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記 東郷</li> <li>・定期総会</li> <li>・防衛フォーラム</li> <li>・九・沖アソク会議</li> <li>・東F海軍者</li> <li>・記 護国・団基大会</li> <li>・地域ボランティア活動</li> <li>・忘・新年会</li> </ul>													
広告	<ul style="list-style-type: none"> <li>3社(鹿児島2、川内)</li> <li>3社(鹿児島2、国分)</li> </ul>													

平成29年度 広報紙 「隊友さつま」 編集記事計画

付紙

発行時期		1-四 (7/15)		2-四 (10/15)		3-四 (1/15)		4-四 (4/15)	
内容		3		3		4		3	
1	主要記事 巻頭言 PKO、持タネ 年頭の辞 コラム	記事数 主 張・意見 趣味、他		記事数 主 張・意見 趣味、他		記事数 主 張・意見 趣味、他		記事数 主 張・意見 趣味、他	
	県隊友会 のページ (割 当)	国分支部 隼人支部(宝暦治水8) 見中央支部 薩摩川内支部 志布志支部 蘭さつま支部 叙勲、県会長表彰	鹿見島地協 隼人支部(宝暦治水8) 郡山支部(身近な話題) さつま支部 いちき串木野支部 大崎支部 本部会長等表彰	鹿見島西支部 国分支部(身近な話題) 県GOLF大会(さつま支部) 出水(身近) 知名(身近) 笠峰支部 始良支部 叙勲	薩摩川内支部 鹿見島地協(桜島防災訓練) 国分支部(国君)、袖脇支部 吾入支部 伊佐支部				
2	支部紹介 1～2コ支部 ホラソライア 慰霊祭 その他 支部会員紹介 健康アトバイス	記事数 1～2コ支部 ホラソライア 慰霊祭 その他 支部会員紹介 健康アトバイス	記事数 1～2コ支部 ホラソライア 慰霊祭 その他 支部会員紹介 健康アトバイス	記事数 1～2コ支部 ホラソライア 慰霊祭 その他 支部会員紹介 健康アトバイス	記事数 1～2コ支部 ホラソライア 慰霊祭 その他 支部会員紹介 健康アトバイス				
	支 部 活 動 状 況 (割 当)	錦江支部(又は身近) 中種子支部(身近な話題) 吾入支部(身近な話題) 見協(太平洋戦争体験記) 始良支部 知覧支部 (滝川氏)	指宿支部(又は身近) 鹿見島地協(錦江湾横断遠泳) 瀬戸内支部(身近な話題) 加治木支部(身近な話題) 入来支部 国分支部 (川内氏)	西之表支部 薩摩川内支部(身近な話題) 隼人支部(身近な話題) 見協(身近な話題)、屋海 徳之島支部 (滝川氏)	名瀬支部(又は身近) 国分支部(身近な話題) 伊集院支部(身近な話題) 屋隴空支部(身近な話題) 見南支部、さつま支部 (川内氏)				
3	新装備紹介 身 近 な 話 題 珍 し い 、 驚 き 面 白 い 等	記事数 身 近 な 話 題 珍 し い 、 驚 き 面 白 い 等	記事数 身 近 な 話 題 珍 し い 、 驚 き 面 白 い 等	記事数 身 近 な 話 題 珍 し い 、 驚 き 面 白 い 等	記事数 身 近 な 話 題 珍 し い 、 驚 き 面 白 い 等				
	自衛隊 情 報 (依 頼)	鹿地本(募集状況) 奄美分遣隊 鹿屋基地 川内駐屯地 川内駐屯地 国分駐屯地 編集長又は副編集長 3社(鹿見島2、鹿屋)	記事不足の際掲載 鹿見島地本(援護状況) 下郷分屯基地(身近) 国分駐屯地 鹿屋基地 川内駐屯地 川内駐屯地 編集長又は副編集長 3社(鹿見島2、入来)	奄美通信隊 沖永良部基地 川内駐屯地 国分駐屯地 鹿屋基地 編集長又は副編集長 3社(鹿見島2、薩摩川内)	鹿見島防衛事務所 鹿屋基地 国分駐屯地 鹿地本 音響測定所(身近又は定年) 編集長又は副編集長 5 5 5				
4	隊員紹介 編集後記	記事数 隊員紹介 編集後記	記事数 隊員紹介 編集後記	記事数 隊員紹介 編集後記	記事数 隊員紹介 編集後記				
	告 告	記事数 割 当 企業案	記事数 割 当 企業案	記事数 割 当 企業案	記事数 割 当 企業案				

## 平成29年度県隊友会長が参加する慰霊祭・追悼式等

- 1 殉職自衛隊員追悼式・慰霊祭 主催事業 県護国神社( 月)
- 2 殉職自衛隊員追悼式・慰霊祭
- (1) 陸自部隊
- ア 西部方面隊殉職隊員追悼式 健軍駐屯地 ( 月)
- イ 国分駐屯地殉職隊員追悼式 国分駐屯地 (11月)
- (2) 海自部隊
- 鹿屋航空基地殉職隊員追悼式 鹿屋航空基地 ( 月)
- 3 戦没者慰霊祭
- (1) 県護国神社春季大祭 県護国神社 (4月)
- (2) 万世特攻慰霊碑慰霊祭 万世特攻慰霊碑「よろずに」の前(4月)
- (3) 国分基地特攻隊員戦没者慰霊祭 国分駐屯地前「特攻機発進の地」(4月)
- (4) 出水特攻慰霊祭 出水特攻撃慰霊碑前(4月)
- (5) 知覧特攻基地戦没者慰霊祭 知覧特攻平和観音堂前(5月)
- (6) 鹿児島県沖繩戦没者慰霊祭 県護国神社 (6月)
- (7) 大東亜戦争戦没者慰霊祭 県護国神社 (8月)
- (8) 県護国神社秋季大祭 県護国神社 (10月)
- (9) 県主催鹿児島県戦没者追悼式 県総合体育館(10月)
- (10) 比島戦没者慰霊祭 指宿市花瀬望比公園(3月)
- (11) 鹿児島戦没者墓地慰霊祭 後援事業 戦没者墓地(鹿児島市・3月)

## 平成 29 年度 主要

期 月	1・四			2・四			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
主 要 行 事	15 九州・沖縄連絡協議会(福岡)	4/29～30 GY		12 中央音楽隊演奏会 22-23 白衛隊みなと祭り(地本)	13～15 お盆 ○富士総合火力展示演習	9 県砲隊員数数等	
会 議		14 県定期総会 21 県総合防災訓練(西之表市)	28 本邦定時総会 県隊友会長等会同	8 副会長等会議		2 #1理事役会議 17 #1支隊長等会議	
本 部 へ の 組 合 ・ 上 中	14 年度本組合 表彰上中	31 会員名簿組合	30 県役員名簿組合				
母 隊 等 行 事	上 坂 等	22 80創立記念行事(北風本)		12 中央音楽隊演奏会 22-23 白衛隊みなと祭り(地本)		31 方面遠征式	
	四 分	1 駐屯地編成会 8・9 新隊員入隊式 23 80創立記念行事	28・31 新隊員23k行進	2 新隊員23k行進 29 新隊員格了式	21～25 #1予備白訓練 15～16 懸島四分夏祭り	1～5 #2予備白訓練 20 懸島四分花火大会	
	川 内	2 駐屯地創立記念行事 22 80創立記念行事		4 下飯島分屯基地57周年開隊記念行事	上旬 後期新隊員入隊式 ○ 学童野球、少年少女ハレー大会 ○ 夏休みちびっ子大会	○ 川内川花火大会支援 ○ 川内大掘引き支援 ○ 大隊射撃協議会 下旬 後期新隊員格了式	
	鹿 屋	30 エアメモリアル・イン鹿屋	○ FK0 リマリア泥道出陣		上旬 球技大会 中旬 防大生航空部隊実習	○ かのや夏祭り ○ FK0 リマリア泥道掘陣	○ #1予備白訓練 ○ 水泳大会
	下 飯			4 基地開隊記念行事			
	そ の 他	24 予備白1日訓練(地本)			30 予備白1日訓練(地本)		
協 力 団 体 諸 行 事	協 会	○ 県防衛協会 ○ 鹿屋島市防衛協会 ○ 水交会	○ 県家協会 ○ 鹿屋島市防衛協会 ○ 水交会	24 地本後援会		27 鹿屋島信付会 ○ 県郷友会	
	数 量 遠 征	○ 鹿屋待炊数数等 ○ 海上待炊(駐屯地大和) 9 万世待炊数数等 12 親国神吉春年大会 15 出水待炊数数等	3 知覧待炊数数等	○ 鹿屋島沖繩親友数数等 東郷記念等	4	○ 大東亜戦争親友数数等(親国神社) ○ 県親友数数等	
	祝 賀		3 憲法記念日				
	表 彰	24 地本表彰・授賞出陣式					
支 隊 行 事	定 期 総 会	9 総会(南さつま) 9 総会(会峰) 20 総会(給良)(伊佐)(信之島) 22 懇親会(南さつま・会峰) 分会等長会議(鹿屋島)	28 総会(四分) 28 総会(軍人) 中旬 現職父兄との懇親会(南さつま・会峰)	25 総会(鹿屋島地保) ○ 真氣協力者会同(南さつま・会峰)	1 球技大会(四分)	19 前線大会(鹿屋島)	
	数 量 遠 征	中旬 親国神社数数等(伊東院)				○ 親国神社数数等(加治木) ○ くれないの塔数数等(名瀬)	
	清 掃 等 公 益 事 業		中旬 現職隊員との懇談会(南さつま・会峰) 13 県都市総合防災訓練(四分・軍人) 21 県総合防災訓練(西之表・中瀬山・南種子) 5 山田社在門聖堂碑昇清掃(給良)	上旬 真氣協力者合同会議(南さつま・会峰)	1 錦江湾川→アップ作戦(四分) 1 錦江湾川→アップ作戦、給良、加治木) 18 錦江湾橋断道派支援(鹿屋島)	上旬 親国神社清掃(伊東院) ○ 赤崎公園数数塔清掃(名瀬)	
	祝 賀						
表 彰 等	9 数数等参加者との合同懇談会(南さつま・会峰)	28・31 新隊員行軍表彰(四分・軍人) 19 海自掃海艇「ながしま」入技歓迎(給良・加治木)	2 新隊員行軍表彰(四分・軍人)			20 懸島四分花火大会(四分)	

行事予定表(案)

期	2・4			4・4			
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
主要行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 航空朝陽式</li> <li>8 安全保障フォーラム</li> <li>○ ディフェンスさつま製菓ゴルフ大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>22 県ブランドゴルフ大会(さつま町)</li> <li>○ 自衛隊音楽祭</li> <li>4~5 九州沖縄ブロック研修会(佐賀)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3 新田原航空ショー・記念行事</li> <li>○ 桜島火山爆発総合防災訓練(因上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 元旦</li> <li>12 桜島火山爆発総合防災訓練</li> <li>○ 合同質問文読会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>11 建国記念日</li> <li>○ 県国墓大会(因分華人地区)</li> </ul>		
会費			10 #2理事役会費		2 副会長会費 25 #3理事役会費	18 #2支隊長等会費	
本部への報告・上申			○ 本部事業計画意見提出			5 事業計画(案)予算(案)報告	
部隊等行事	上級部	1 西方創立記念行事 27 東西演習 17	3 航空ショー 5 空田(新田原) 18 方面音楽演奏会		19~22 部隊射撃競技会	○ 方面音楽祭	
	因分	7~8 市民と自衛隊の親しい(予定) 20~24 #3予備自訓	24~28 #4予備自訓 25 駐屯地慰霊祭 26 駐屯地創立記念行事		5 成人式 12 桜島火山防災 2 2~22 連隊武道競技会	9~12 #5予備自訓 5~8 連隊昇進走競技会 9~12 #6予備自訓	
	川内	○ 駐屯地親月会	○ 薩摩川内はんや祭り ○ ママさんバレー大会	○ 大隊武道競技会 ○ 駐屯地年忘れ行事 7~11 #1予備自訓	○ 成人式 ○ 〇武道競技会 2 57~29 #2予備自訓		○ 大隊兵站(炊事)競技会 ○ 大隊持続走競技会
	鹿屋	○ オータムフェスタ	○ 鳥獣除害追悼式	2 鹿屋航空基地開隊記念日	中旬~2/上旬まで訓練 中旬 基地体育競技大会	○ 飛行幹部候補生100キロ行軍 ○ FKOソマリア派遣出国	中旬 自衛隊入隊・入隊者壮行会 ○ 親指会
	下級						
	その他	29予備自1日訓練(地本)		○ 毒典新設部隊研修(予定)	21予備自1日訓練(地本)		
協力団体諸行事	総会						
	慰霊追悼	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県戦没者追悼式</li> <li>○ 甲良基地出撃戦没者追悼式(鹿屋市)</li> <li>12 親国神社秋季大祭</li> </ul>		12 親国神社天長祭		25 鹿児島戦没者墓地慰霊祭 ○ 比島戦没者慰霊祭	
	祝賀				○ 防衛諸団体質問文読会	11 建国記念奉祝行事	
	激励						
支隊行事	定期総会 講話懇親		3 新田原研修視察 10 忘年会(鹿児島) ○ 現職隊員との懇親会(始良)	21 球技大会(因分)	中旬 親指会(会費)		
	慰霊追悼	○ 戦没者追悼式(因分)	○ 戦没者追悼式(始良)			25 鹿児島戦没者墓地慰霊祭(鹿児島)	
	清掃等 公益事業	28 戦没者墓地清掃(鹿児島) ○ 展示ジェット機周辺の清掃(伊佐) ○ 錦江湾列→マップ作戦、始良、加治木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ おはら隊支援鹿児島協議会</li> <li>5 始良市防災訓練</li> <li>○ 慰霊祭清掃(始良)</li> </ul>	中旬 親国神社清掃伊集院 ○ 桜島火山爆発総合防災因上訓練参加(鹿児島)			
	祝賀					11 鹿児島市建国記念(因分)	
	激励懇親	7~8 市民と自衛隊との親しい(因分)		中旬 在住現職自衛官との交流会・支隊懇親会(始良)			市等の入隊者壮行会 中旬 鹿児島地保、因分・南さつま・会費 下旬 伊集院

## 県規則一部改正(案)

### (会費)

第8条 会員は、隊友会定款第7条及び隊友会規則第1号第9条に基づき、次の会費を納入しなければならない。会費は、即日入会者を除き本会において徴収する。

- (1) 正会員は、年額 3,000円とする。
  - (2) 正会員で希望する者は、希望する時に、10年、15年、20年の何れかの期間を選択し、その期間の年会費を一括前納することができる。年会費を一括前納する場合は、前納期間にかかわらず前納期間会費総額の10%割引した会費を納めるものとする。
  - (3) 終身その会費を免除された正会員を廃止するものとし、施行日の前日現在において既に終身会員であった場合は、引き続きその身分を保証するものとする。
  - (4) 特別会員は、個人(一般)会員年額1口10,000円、個人(法人)会員年額1口20,000円、それぞれ10口以内並びに個人(家族)会員年額300円とする。
  - (5) 本会は、必要に応じ終身会員に対し、会運営の一部の負担を求めることができる。その金額は年会費を基準とし、寄付金として処理する。
- 2 特別会員の会費の変更は、支部長等会議の議決による。
  - 3 本会は、徴収した正会員費の10%を本部に納入しなければならない。ただし、当分の間この納入金は免除され、本部からの助成金として扱う。
  - 4 終身会員が帰住先居住地を入会后5年以内に県外に変更した場合においては、本会の残年数に応ずる会費を変更先の県隊友会長に移管する。
  - 5 年会費を一括前納した正会員が居住地を県外に変更した場合においては、本会の残年数に応ずる会費を変更先の県隊友会長に移管する。

### 付則

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

平成 27 年 6 月 1 日 一部改正 (例規第 4 号)

鹿児島県隊友会理事役等..

No	役 職 名	氏 名	担 当
1	会 員	村山 文彦	会務全般
2	所掌副会長 (4)	川原 透治	総務・監理・組織
3		平原 誠	市民・広板・地域
4		宮口 修一	部会・教職・諸団体
5		宮ノ原 拓	事務局長
6	副会長	平田 廣雄	海自担当
7	常務理事役 (17)	木原 巧誠	1GP 総務・監理・組織
8		曾山 光治	
9		福山 義久	
10		川原 孝	2GP市民・広板・地域
11		熊村 敬二	
12		小田 健治	
13		川井田 誠	
14		藤野 史人	3GP部会等・教職・諸団体
15		佐藤 博	
16		児玉 健二郎	
17		山口 高志	事務副次長・総務
18		後藤 光一	
19		小淵 勇三郎	
20		木之下栄一	
21		木原 巧誠	予備自部長(兼)
22		滝川 義弘	健康アドバイザー
23		宮口 千代	女性部長
24	理事役(9)	濱田 和敏	1GP特命事項
25		藤 孝二郎	2GP特命事項
26		古川 清行	
27		鬼塚 俊伸	
28		上笹貫 昭一	3GP特命事項
29		後村 盛徳	
30		恒古 盛徳	
31		向上 男子	健康アドバイザー
32		川内 吉子	
33	隊友おつま・新聞 担当(5)	赤田 博明	総業員
34		蜜柑山 洋一	総業委員
35		川原 孝	
36		永田 高一	
38	監査役(2)	山口 高志	事務執行監査
39		肥後 芳一	同上・総業委員 (兼務)

鹿児島県隊友会員の平成29年春の叙勲等受章者

栄えある叙勲の受章をお祝い申し上げます。

(賞 賜)	(功労概要)	(氏 名)	(所属支部)
平成29年春の叙勲受章者			
瑞宝双光章	スポーツ振興功労・防衛功労	おだ かつみ 小田 勝美	隼人 (陸)
第28回危険業務従事者叙勲受章者			
瑞宝双光章	防衛功労	ありむら あきお 有村 昭夫	本部直轄：肝付 (海)
瑞宝双光章	防衛功労	おおつか こうじ 大塚 浩二	薩摩川内 (陸)
瑞宝双光章	防衛功労	かimoto まさあき 改元 正昭	本部直轄：牧園 (陸)
瑞宝双光章	防衛功労	しげむら みつひさ 重村 満久	瀬戸内 (陸)
瑞宝双光章	防衛功労	まちだ しげほ 町田 茂穂	薩摩川内 (陸)
瑞宝単光章	防衛功労	あべまつ あきのり 楢松 昭徳	鹿児島地協 (陸)
瑞宝単光章	防衛功労	いいがたに のぞむ 飯ヶ谷 望	本部直轄：末吉 (陸)
瑞宝単光章	防衛功労	にし かずのり 西 一徳	薩摩川内 (空)
瑞宝単光章	防衛功労	ひがし よしひろ 東 芳洋	中種子 (空)

※ 隊友会員以外の春の叙勲及び危険業務従事者叙勲受賞者は(内閣府HPによる)以下の通りです。

平成29年春の叙勲受章者

瑞宝小綬章 上堀哲郎 (薩摩川内市 空)

第28回危険業務従事者叙勲受章者

瑞宝双光章 秋月明男 (喜界町 海)、石原三善 (いちき串木野市 陸)、上原玲 (鹿屋市 海)  
川口克司 (鹿児島市 海)、篠原弘行 (枕崎市 陸)、諏訪免仁 (いちき串木野市 海)  
時岡久和 (喜界町 海)、野添健一 (鹿屋市 海)、松岡英男 (鹿屋市 海)  
宮本誠 (大崎町 陸)

瑞宝単光章 岡山隆 (鹿屋市 海)、皆銭和弘 (鹿屋市 海)、坂元昭藏 (志布志市 陸)、  
佐川芳盛 (鹿屋市 海)、新越悟 (鹿屋市 海)、永吉保 (志布志市 陸)  
、的場郁雄 (阿久根市 海)、柳田義一 (日置市 陸)、山村隆 (鹿屋市 海)